

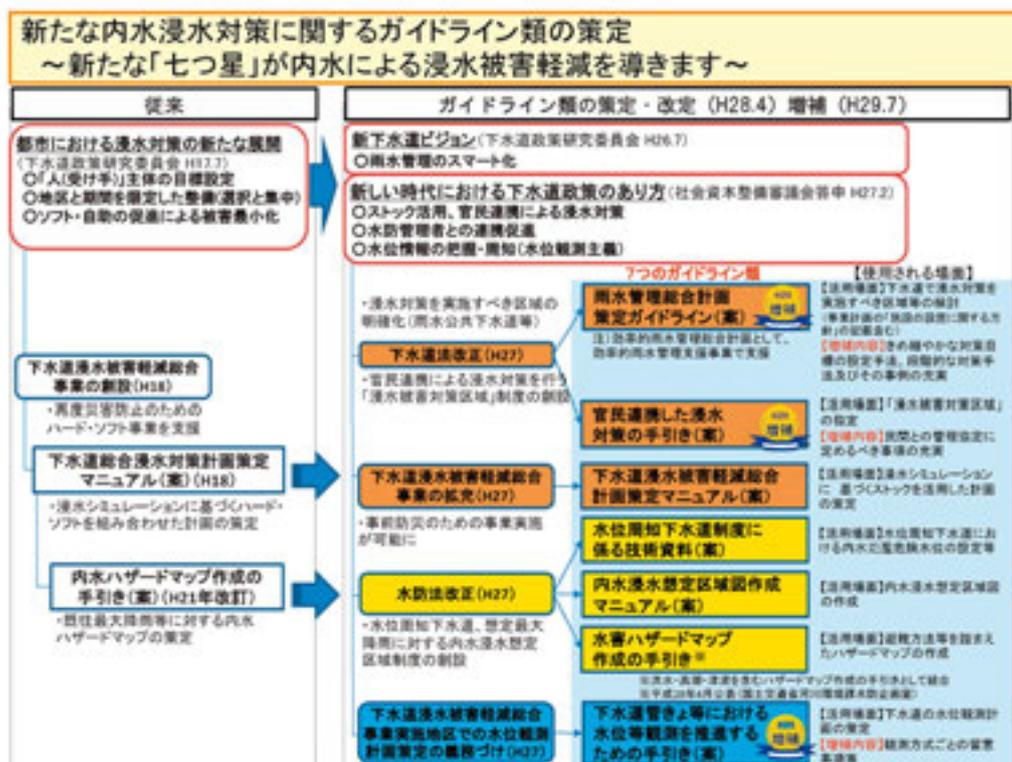
II-2 雨水（浸水）対策計画

(1) 雨水管理総合計画の策定の推進について

近年の雨の降り方の局地化・集中化・激甚化や都市化の進展等に伴い、多発する浸水被害への対応を図るため、平成27年11月19日に下水道法を含む「水防法等の一部を改正する法律」が施行され、ソフト・ハードの両面からの水害対策を強化する制度改正が行われた。

また、令和3年5月10日には下水道法を含む「特定都市河川浸水被害対策法等の一部を改正する法律」が公布され、気候変動に伴う降雨量の増加や短時間豪雨の頻発化等を踏まえたハード対策の加速化とソフト対策の充実による総合的な対策を推進する制度改正が行われた。

地方公共団体においては、「雨水管理総合計画策定ガイドライン(案)」(平成28年4月国土交通省)を参考に、浸水シミュレーション等による浸水リスク評価を踏まえ、下水道による浸水対策を実施すべき区域や既存施設を最大限活用した対策等を定めた「雨水管理総合計画」を策定し、効率的かつ総合的な浸水対策の実施を図ることとしている。



(2) 浸水被害状況について

県内における近年の豪雨等による浸水被害について、代表的な事例を以下に示す。



飯塚市鯉田地区 (H30.7)



久留米市御井地区 (H30.7)



大牟田市三川地区 (R2.7)

(3) 浸水対策の整備状況について

本県の浸水対策に対する整備状況を以下に示す。

1) 公共下水道（雨水）

雨水整備進捗状況表

令和2年度末

自治体名	計 画		実 績		整備率 (整備面積/全体計画) %
	全体計画	事業計画	整備面積		
	h a	h a	h a		
北九州市	23,637	18,775	10,116		42.8%
福岡市	17,992	17,227	16,996		94.5%
大牟田市	2,957	1,316	436		14.7%
久留米市	6,481	6,219	5,338		82.4%
直方市	1,786	615	0		0.0%
飯塚市	2,672	1,855	406		15.2%
柳川市	706	454	0		0.0%
八女市	1,753	0	0		0.0%
筑後市	1,334	0	0		0.0%
大川市	1,212	252	20		1.7%
行橋市	1,618	421	343		21.2%
豊前市	615	469	306		49.8%
中間市	1,045	1,042	145		13.9%
小郡市	1,752	1,367	1,367		78.0%
筑紫野市	2,368	1,916	570		24.1%
春日市	1,380	1,380	888		64.3%
大野城市	1,532	1,508.5	1,310		85.5%
宗像市	2,759	2,404	2,127		77.1%
太宰府市	1,467	1,379	803		54.7%
古賀市	1,165	1,165	999		85.8%
福津市	1,273	629	328		25.8%
うきは市	1,066	1,060	0		0.0%
宮若市	665	235	0		0.0%
朝倉市	959	694	234		24.4%
みやま市	-	-	-		-
糸島市	1,142	1,012	422		37.0%
那珂川市	748.9	734.7	671.2		89.6%
宇美町	1,023	862	0		0.0%
篠栗町	536.6	536.6	214.3		39.9%
志免町	869	807	804		92.5%
須恵町	699	620	0		0.0%
新宮町	592	550	434		73.3%
久山町	654	439	0		0.0%
粕屋町	890	816	224		25.2%
芦屋町	538	527	524		97.4%
水巻町	804	732	553		68.8%
岡垣町	897	874	791		88.2%
遠賀町	779	494	0		0.0%
小竹町	285	103.9	4.5		1.6%
鞍手町	813	396	0		0.0%
筑前町	869	860	332		38.2%
大刀洗町	552	539	0		0.0%
広川町	550	0	0		0.0%
荻田町	1,084	494	178		16.4%
みやこ町	-	-	-		-
吉富町	225	99	0		0.0%
築上町	-	-	-		-
計	94,743	73,878	47,883		50.5%

2) 都市下水路（参考）

都市下水路 着手状況

令和2年度末

都市計画 区域名	自治体名	計 画				供 用				整備率 %
		排水区域 ha	管渠延長 m	ポンプ場		排水区域 ha	管渠延長 m	ポンプ場		
				箇所数	面積 m ²			箇所数	面積 m ²	
筑豊広域	田川市	879	8,860	-	-	879	8,860	-	-	100.0%
筑後中央広域	柳川市	104	3,257	2	3,280	104	3,257	2	3,280	100.0%
筑後中央広域	八女市	328	4,188	-	-	296	2,933	-	-	90.2%
筑後中央広域	大川市	260	9,315	1	2,123	260	9,315	1	2,123	100.0%
京筑広域	行橋市	248	2,663	1	2,776	248	2,663	1	2,776	100.0%
福岡広域	古賀市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
筑豊広域	宮若市	37	590	1	2,400	37	590	1	2,400	100.0%
朝倉筑前	朝倉市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大牟田	みやま市	304	2,104	-	-	304	2,079	-	-	100.0%
筑後中央広域	みやま市	109	3,740	2	5,590	109	3,740	2	5,590	100.0%
二丈	糸島市	31	830	1	750	31	850	-	-	100.0%
福岡広域	篠栗町	201	2,670	-	-	201	2,670	-	-	100.0%
福岡広域	新宮町	51	2,490	-	-	33	1,590	-	-	64.7%
計		2,552	40,707	8	16,919	2,502	38,547	7	16,169	98.0%

(4) 県としての取組

県においても、市町村の浸水対策を促進するために以下の取組を行っている。

① 浸水対策に関する情報提供・助言等

県は市町村に対し、日頃より浸水対策に関する計画・事業実施等への助言、また国や関係機関等からの情報提供を行っているが、別途以下のような場において、関係市町村に対し積極的に助言や情報提供等を行うことで、市町村の浸水対策を促進させるよう努めている。

(主な情報提供の会議等)

- ・全国町村下水道推進協議会福岡県支部総会(例年4～5月頃開催)
- ・福岡県内市下水道推進協議会総会(例年6～7月頃開催)
- ・全国町村下水道推進協議会福岡県支部研修会(例年10～11月頃開催)
- ・福岡県内市下水道推進協議会研修会(例年12～2月頃開催)
- ・福岡県版下水道場(とびうめ下水道場)(例年2回開催)
- ・福岡県雨水対策研究会(あめんたい)(例年1～2回開催)

② 浸水対策に関する整備進捗への働きかけ

浸水対策への整備進捗を図るために、浸水に関する指標により目標値設定を行い、県で進捗管理を行うことで、早期の浸水解消ができるよう努めている。関係する指標及び目標値については以下のとおりである。

◇第5次社会資本整備重点計画《対象:全国》

- 1) 最大クラスの内水に対応した浸水想定区域図を作成した団体数

(目標値) 15 (R元) → 約800 (R7)

◇九州ブロック社会整備重点計画《対象:九州》

- 1) 下水道による都市浸水対策達成率

(目標値) 約63% (R元) → 約71% (R7)

- 2) ハード・ソフトを組み合わせた下水道浸水対策計画策定数[全国指数]

(目標値) 約170地区 (R元) → 約200地区 (R7)

- 3) 水害時における下水処理場等の機能確保率

(目標値) 0% (R元) → 100% (R7)

- 4) 最大クラスの内水に対応した浸水想定区域図の作成数

(目標値) 2団体 (R元) → 約89団体 (R7)

◇国土強靱化アクションプラン2016《対象:全国》

- 1) 最大クラスの内水に対応したハザードマップを作成・公表し、住民の防災意識向上につながる訓練(机上訓練・情報伝達訓練等)を実施した市区町村の割合

(目標値) - % (H26) → 100% (R2)

- 2) 下水道による都市浸水対策達成率

(目標値) 約57% (H27) → 約62% (R2)

◇福岡県地域強靱化計画《対象:福岡県》

- 1) 下水道の都市浸水対策達成率

(目標値) 69.4% (H29) → 73.4% (R3)

- 2) 内水ハザードマップを作成・公表し、防災訓練等を実施した市町村の割合

(目標値) 72.2% (H29) → 100% (R3)